

# 八幡仏教会報

第 8 号

発行所  
岐阜県郡上市八幡町  
八幡仏教会

発行責任者  
会長 石神 明

八幡仏教会ホームページ  
<http://www.8butsu.jp>

## 本当のことがわからないから不安

八幡町八幡仏教会会長 石神 明

私たちの身の回りには、信じて頑張ったのに「こんなはずではなかった」と落ち込んだり、悪いことが起こったら大変と、成り立ちや根拠をたしかめせず、みんながしているままに、怖れたり敬ったりしていることがあります。たとえば「友引」に葬儀を出さないとか、方角が悪いとか、日が良いとか、悪いとか。

そもそも「友引」とはどういう意味があるのでしょうか。友引は当て字で元の字は「共引」とか「共退」で、勝負なし、引き分けの意味で「友を引く」とは関係ありません。「先勝」(先に仕掛けた方が有利)「先負」(その逆)など同じく勝負事から来た言葉です。明治時代に暦法が改正される頃に、暦の存在価値や権威を示すために、暦商があえて

「友引」の字を導入して活字にしたものが戦後に普及していったようです。

苦行を放棄したお釈迦様は、汚れきった身体を洗い、村娘の捧げた乳粥で体力を回復し、菩提樹の大樹の下に座り、真理に到達しようと瞑想し続けました。その間にさまざま「魔」が真理を覚らせまいと攻撃をしてきたと経典に描かれています。「魔」とは、本来は「死(いきいきと生きるの逆方向)」に向かわせるもの」という意味です。

それらを次々と降ろして真理に目覚めた(「降魔成道」といいます)とされますが、それはそれぞれの魔を打ち破ったということではなく、魔の正体を見抜いたのです。魔の軍隊は、外にあって攻撃してくるのではなく、自分の内にある欲望・嫌悪感・妄執・無気力・

恐怖・疑い・偽善・かたくなさ・不正に得た利益や名声・自尊他蔑の心などあると見破ったのです。魔の本性は何であるのか、どのように成り立っているのかを見抜いてしまうと、魔は力を失います。それは魔がなくなるということではありません。無くならないけど、もう魔に振り回されたり煩わされることはなくなるのです。

仏教の進み方は、自分の行く手を妨げるものを敵と設定してそれを征服するという進み方ではありません。魔の本質を見抜いて進んでいくのです。縛られない、引きずられない、振り回されない、真の自由な生き方のためには、ありのままを正しく見ることです。(正見といいます)

そうはいっても、私たちは自分の都合や勝手な思いを通してしか見ることが出来ません。ならば、正しく見た方の言葉(仏教)に聞いていくしかありません。

本年も仏教会活動に深いご理解と篤いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 仏教の世界の広さ

八幡仏教会教化広報部長 服部 貢一郎

お経の中では時折「三千大千世界」という言葉が出てきます。「三千」や「大千」の世界とあるので、何となく広い「世界」を表している感じがしますが、実際は何を意味しているのでしょうか。

仏教での「世界」とは、虚空の中に巨大な風輪(ふうりん)という円盤が浮かんでいて、その上に水輪(すいりん)、金輪(こんりん)が載り、金輪の表面に須弥山(しゅみせん)を中心とした九つの山と八つの海、四つの島があるとされています。

現代の寸法にすると、須弥山は高さ・直径共に五十六万km、金輪の直径は八百四十万kmとなり、地球一周(四万km)と比べてもはるかに大きいので、地球を飛び越えて太陽系くらいのイメージなのかも知れません。

ちなみに人間が知ることが出来るのは金輪までで、その際のところを金輪際といいます。「もう金輪際ごめんだ」等と使われますが、本来はギリギリの境界のところという意味です。

この須弥山を中心とした世界ですが、これが千個で小千世界、小千世界が千個で中千世界、中千世界が千個で大千世界となります。

大千世界は、小・中・大の三つの千世界を意味するので、「三千大千世界」となる訳です。世界×千倍×千倍×千倍で、世界が十億個分になり、とてつもない広さになりますので、宇宙全体を指しているのかも知れません。

このとても広い三千大千世界ですが、実は一人の仏様が教えを説くことができる広さを意味しています(一仏国土とも言います)。私たちがいる三千大千世界はサハ(娑婆)で、その西方には阿弥陀如来が教える極楽浄土、東方には薬師如来が教える瑠璃世界など、三千大千世界はたくさんあります。

ところで、論理物理学の学説の一つに「マルチバース理論」というものがあります。宇宙は一つ(ユニバース)ではなく複数(マルチバース)存在するという説ですが、私たちのいる宇宙の外へは行くこともできないし見ることもできないので、当分結論が出ない説でもあります。

ところが仏教では、私たちが住んでいる娑婆という三千大千世界の外側にも、いくつもの三千大千世界が存在すると教えていますので、まさしくマルチバース理論と言えます。二千年以上前から始まっている仏教ですが、全然古臭くなくて、現代の科学にも通ずる教えではないでしょうか。

## 平成二十八年年度

### 主な事業報告

五月五日(木)

花祭りパレード

七月二十八日(木)～八月九日(火)

八幡十三ヶ寺めぐり

暁天の集い

八月二十一日(水)

灯籠流し

九月九日(金)

追弔会

## 平成二十九年年度

### 主な行事予定

五月五日(金)

花祭りパレード

七月二十八日(金)～八月九日(水)

八幡十三ヶ寺めぐり

暁天の集い

八月十七日(木)

灯籠流し

九月八日(金)

追弔会

八幡十三ヶ寺めぐり

暁天の集い 日程

毎朝六時〜三十分程度

(皆勤賞もありますヨ)

七月二十八日	(金)	洞泉寺
二十九日	(土)	慈恩寺
三十日	(日)	願蓮寺
三十一日	(月)	最勝寺
八月一日	(火)	善光寺
二日	(水)	安養寺
三日	(木)	悟竹院
四日	(金)	浄因寺
五日	(土)	長敬寺
六日	(日)	大乘寺
七日	(月)	蓮生寺
八日	(火)	遍照殿
九日	(水)	楊柳寺

平成二十九年役員

平成二十九年度の役員は、次のとおりです(順不同)。ご苦勞様ですがよろしくお願いいたします。

会長	石神明(願蓮寺)
副会長	毛利 諱信(蓮生寺)
事務局長	餌取 評八
会 計	稲村 隆元(悟竹院)
総務部長	本田 あけ美
事業部長	直井 忠
教化広報部長	浅野 真顕(洞泉寺)
監 事	服部 貢一郎(善光寺)
理 事	筒井 淳美
	川上 朝史
	林 忍
	山下 健一
	清水 俊夫
	和田 勝介
	大前 三郎
	服部 純一
	佐藤 實
	足立 政男
	浜口 民男
	池戸 洋二
寺院	川岸 承翁(楊柳寺)
	楠 幹夫(安養寺)
	高橋 教雄(大乘寺)
	多田 克次(最勝寺)
	玉腰 秀樹(浄因寺)
	千葉 讓(長敬寺)
	東 宜隆(慈恩寺)
	中島 密慈(遍照殿)

町内世話人(七月二十日現在)

上 桜町	田尻 浩
下 桜町	本田 登
上 柳町	和田 清
中 柳町	坪井 重
下 柳町	和 田 修
上 柳町	藤田 浩
中 柳町	山内 幸彦
下 柳町	天野 健吾
職 人 町	小瀬 保
鍛冶屋 町	島川 功
大 手 町	川上 朝史
本 町	天野 収一
肴 町	加藤 一朗
上 尾崎町	清水 勝行
下 尾崎町	直井 忠
向 京 山	熊田 信夫
左 京 町	小林 功
常 盤 町	林 忍
北 朝 日 町	青木 寿生
南 朝 日 町	井上 さち子
上 愛宕町	本田 あけ美
中 愛宕町	坪井 實
下 愛宕町	長尾 豊
川 原 町	筒井 淳美
立 本 町	松井 武夫
乙 本 町	川端 憲彦
山 本 町	山下 健一
東 町一 区	久保 恒代
東 町二 区	和田 洋一
橋 本 町	吉田 新一郎
新 町	清水 俊夫
稲 荷 町	和田 あいこ
大 坂 町	和 田 勝介
上 日ノ出町	伊藤 喬
下 日ノ出町	村瀬 清
上 日吉町	山田 保雄
下 日吉町	大前 三郎
	朝日 令子
	古田 博之
	篠田 節子
	和田 美智也
	鷺見 光義
	池戸 創一
	瀬川 浩志
	川島 弘敬
	河合 宏幸
	遠藤 敦則
	奥村 澄好
	長尾 登美夫
	服部 純一
	加藤 克久
	鷺見 宏康
	田中 清美
	森 徹
	白瀧 雅洋
	中邑 篤司
	小倉 幹夫
	日置 浩
	大坪 三郎
	白滝 明久
	足立 政男
	加藤 幸則
	馬場 直美
	浜口 民男
	平瀬 忠寿
	高垣美代子
	岡崎 稔
	斉藤 實
	永瀬 英
	小酒井 久男
	藤田 勝利
	三島 修
	池戸 洋二
	後藤 千廣
	餌取 評八
中 坪	

平成 29 年度八幡仏教会予算

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

【 収 入 の 部 】

科 目	前年度実績	予 算 額	備 考
繰 越 金	477,450	614,805	
会 費 収 入	754,000	740,000	@500×1,480 戸分
事 業 収 入	316,168	295,000	
内 訳	花まつり	16,915	参加費@100×150 人分
	灯籠流し	199,253	灯籠申し込み@2,000×100 基分
	追 弔 会	100,000	志納金ほか
	暁天の集い	0	0
雑 収 入	23	0	
積立金取り崩し	0	0	
合 計	1,547,641	1,649,805	

【 支 出 の 部 】

科 目	前年度実績額	予 算 額	備 考
事 業 部 費	615,187	670,000	
内 訳	花まつり	159,291	180,000
	灯籠流し	267,728	280,000
	追 弔 会	143,668	150,000
	暁天の集い	44,500	60,000
総 務 部 費	0	0	
教化広報費	43,864	50,000	サーバ利用料、会報
事 務 費	25,035	50,000	通信費、事務用品等
会 議 費	67,950	100,000	世話人会、理事会、監査会
渉 外 費	160,800	180,000	市仏教会費、倉庫土地借料等
備 品 費	0	100,000	
予 備 費	20,000	499,805	絵葉書「郡上八幡城下寺めぐり」
次年度繰越金	614,805	0	
合 計	1,547,641	1,649,805	

《あとがき》

今年も無事発行する事が  
できました。十分確認した  
つもりですが、誤字・脱字  
等ございましたら、ご了承  
ください。

八幡仏教会報へのご意  
見、ご要望等ございました  
ら、柳町 善光寺までご連  
絡ください。次回の参考に  
させていただきます。(せ)

平成 28 年度八幡仏教会収支決算書

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

【 収 入 の 部 】

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考	
繰 越 金	477,450	477,450	0		
会 費 収 入	750,000	754,000	4,000	会員 1508 人	
事 業 収 入	295,000	316,168	21,168		
内 訳	花まつり	15,000	16,915	1,915	参加 150 人、賽銭
	灯籠流し	200,000	199,253	△747	93 基、志、賽銭
	追 弔 会	80,000	100,000	20,000	志納金ほか
	暁天の集い	0	0	0	
雑 収 入	0	23	23	預金利子	
合 計	1,522,450	1,547,641	25,191		

【 支 出 の 部 】

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考	
事 業 部 費	660,000	615,187	44,813		
内 訳	花まつり	200,000	159,291	40,709	ポスター、記念品、布施等
	灯籠流し	250,000	267,728	△17,728	チラシ、灯籠、布施等
	追 弔 会	150,000	143,668	6,332	チラシ、供物、お礼、布施等
	暁天の集い	60,000	44,500	15,500	チラシ、ポスター、啓蒙費
総 務 部 費	0	0	0		
教化広報費	50,000	43,864	6,136	サーバ利用料、会報	
事 務 費	50,000	25,035	24,965	通信費、事務用品等	
会 議 費	100,000	67,950	32,050	世話人会、理事会 監査会、懇親会	
渉 外 費	100,000	160,800	△60,800	市仏教会費 倉庫土地借料	
備 品 費	100,000	0	100,000		
予 備 費	462,450	20,000	442,450	熊本地震義捐金	
小 計	1,522,450	932,836	589,614		
繰 越 金	0	614,805	614,805		
合 計	1,522,450	1,547,641	△25,191		

積 立 金	定期貯金	1,150,636(元利合計額)	
-------	------	------------------	--

上記のとおり報告します。

平成 29 年 4 月 6 日 八幡仏教会 会計 本田 あけ美

監査の結果 正確であることを認めます。

平成 29 年 4 月 6 日 八幡仏教会 監査 筒井 淳美

監査 杉下 義昭